

第 1 ・ 2 回足立区基本構想審議会意見一覧（概要を専門部会の分野ごとに整理）

	現 状	将来の課題
子ども分野	<p>就学援助は他自治体より多く、児童扶養手当の対象となるひとり親も増加。 親による虐待や仲間どうしのいじめが多い。親の代からの心の教育が必要。 子どもの貧困対策、居場所づくり、ネグレクト等に取り組む善意ある方と行政とが結びついていない。 将来キーパ - ソンとなる高校生の中退者やニート、フリーターが多く、その背景にある家庭状況も踏まえた対策が必要。 待機児童対策の施設整備が後追いでは後手に回る。 保育料が安いと若い世代が集まる傾向にある。 区外から移り住んできた子育て世代が大勢いることに着眼すべき。 学校は三学期制が良いという方も多い。</p>	<p>区として高校生世代にどのようなサポートができるか考えていく必要がある。 同じ保育の定数でも、ニーズに合ったものを整えていくことが必要。 若い世代が自立して仕事が出来、活躍でき、居場所があることが重要。</p>
くらし分野	<p>在宅医療が必要な場合、介護士やケアマネの相談はあっても往診医が見つからない。名簿をつくり協力を求めることができれば助かる。 障がい者の方の人数も多いので、それに目を向けた施策展開が重要。 人口・世帯は増えているのに、町会・自治会の加入率が低下している。 人口は増えているのに、逆に事業所数や工業出荷額、農業生産額等が落ちている。 自力で住まいを借りることができず、親元に住む若者が増えている。 ビューティフルウィンドウズ運動による治安の向上は良いこと。</p>	<p>高齢者の増加により自宅で介護する「老々介護」が増えると予想される。 足立版地域包括ケアシステムの構築は喫緊の課題。 生活保護受給者が多い等の貧困問題や、医療や介護等の扶助費増について検討する必要がある。 区民の健康寿命は全国より約 2 歳短いので、さらに強力な対策を講じる必要がある。 若者が親元を離れ自立できるよう、住宅対策や雇用対策等が必要。</p>
まちづくり分野	<p>老朽家屋対策はやっている一方で、無接道の家屋には手を打てていない。 密集地域がまだたくさんある。道路も狭い。解消が必要。 防災面でも老朽家屋対策が必要。 一戸建てよりも集合住宅がさらに増えていくと思うが、注意点もある。 ワンルームマンションが増えて、住民税納付はないが行政サービス提供はしていると言う問題が顕在化している。 環境対策の取り組みは素晴らしい。強みとして積極的にアピールを。 公共交通空白地域が 6%に減少したとはいえ、そこに住む人は大変である。 鉄道駅誘致による交通空白地の低減は良いこと。 大学誘致やエリアデザインによる魅力ある街づくりは良いこと。 交通の便が良いと思う人は上昇傾向にある反面、景観・街並みが魅力的になってきていると思う人は減少傾向にあることは問題。 零細・小規模企業は後継者不足で減少。大人数で会合を開く場所が区内にない問題もある。 大宴会場のあるホテルが無い。外国人を招待するにも A クラスのホテルは必要。</p>	<p>集合住宅が増え、将来スラム化しないように計画的な修繕を指導していく必要がある。 若年層を呼び込む魅力あるまちづくりを進めていくことが大事。 エリアデザインは優先順位をはっきりさせて、地区別に計画的に整備すべき。 インフラ整備の充実にあたり、どのような問題点が出て来るのかを整理する必要がある。 TASK など、ものづくり産業の活性化を目指した他区連携も検討すべき。 今後、大きなインパクトがある事業として、鉄道立体化整備、地下鉄 8 号線の誘致、北綾瀬駅の始発駅化、都営住宅等の建て替えに伴う余剰地活用などが考えられる。</p>

	現 状	将来の課題
経営改革分野	<p>大学慣れしていない方が多い。もっと活用してよい。コンソーシアムができると良い。</p> <p>コンパクトな区政運営（職員数 23 区最少）は良いこと。</p> <p>区民の区に対する意識調査結果が良くなっている。</p> <p>区民意見が区政に反映されていると思う区民は多くないので、制度の活用が十分ではないのでは。</p>	<p>子どもたちのレベルアップ等に向けた連携など、区内の 6 つの大学を活用すべき。</p> <p>様々な属性・立場の区民の生活を支える経済的な支援が必要。</p> <p>区の保有施設の大規模改修・改築等や災害対策等、大口の支出のリストアップとその支弁法を固めておく必要がある。</p> <p>区の財源が無ければ、ボランティア、寄付、規模の縮小、代案等を考えていかねばならない。</p> <p>財政が厳しい中、基礎的サービスを維持しつつ、強みを伸ばすなどのメリハリをつけてブランディングしていくことも考えてほしい。</p> <p>区の財政力指数が低く、地場産業の育成、担税能力のある人材流入・定住の促進が重要だが、収入増が難しいならば、支出の削減と負担の公平化が当区の将来に課された最も大きな課題であろう。</p> <p>広域自治により整備の遅れをなくす検討も必要</p> <p>基本構想・基本計画策定後の進捗をしっかりと検証していくことが重要。</p>
その他・全体関係	<p>高齢化や失業率等の日本全体や都の課題と足立区単独で対応可能な課題とを切り分けるべき。</p> <p>基本構想を考えるうえで、人口推計や 30 年先の国のデータ、区の考え等を知りたい。</p> <p>区民ニーズは、世論調査的なものだけでなく、審議会としてのデザインができた段階で区民に意見を聴いたらどうか。意見交換会（討論会）を検討してはどうか。</p> <p>いろいろな施策が成果を挙げている反面、もう少し力を入れてもよさそうなものもある。</p> <p>インフラ面に力を注いでも人間の心の教育がなくなっていなければ、今後、さらにひどい状況になるのは必至。本来、家庭で代々受け継がれるべきこと。</p>	<p>20 歳代の転入増を分析のうえ、担税力のある若者を転入させる施策が重要。</p> <p>区の北東部の都営住宅では、低所得の外国人も多く、言葉の障害もあり学力水準の低下が著しい。国が移民を受け入れる時代を先取りし、住宅政策や学力向上の支援策を検討したい。</p> <p>ヒト・モノ・カネには限りがあるので優先順位をつけて計画を立てなければならない。</p> <p>基本構想は、区民に分かりやすいメッセージ、スローガンにして、伝えるようにすべき。</p> <p>人の力、人の良さを生かす足立区であって欲しい。</p> <p>成果を挙げてきた施策も、継続的な努力をしないと後戻りする。絶えず施策・事業を厳しく見直し、新たな視点・アイデアも取り入れ向上に努めてもらいたい。</p> <p>基本構想策定の目的は、「住んでみたい足立」を協働により築き、その将来像は「住んでよかった足立」をめざすことではないか。</p>